

Dell システムビルドおよび  
アップデートユーティリティ  
バージョン 2.0  
ユーザーズガイド



## メモおよび注意



**メモ**：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



**注意**：手順に従わないと、ハードウェアの損傷やデータの損失につながる可能性があることを示しています。

---

**本書の内容は予告なく変更されることがあります。**

**© 2012 すべての著作権は Dell Inc. にあります。**

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell™、DELL™ ロゴ、PowerEdge™ および OpenManage™ は Dell Inc. の商標です。Microsoft®、Windows® および Windows Server® は米国その他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。VMware® は米国およびその他の法域における VMware, Inc. の登録商標です。SUSE® は米国およびその他の国における Novell, Inc. の登録商標です。Citrix® および XenServer® は米国およびその他の国における Citrix System, Inc. の商標または登録商標です。Red Hat® および Red Hat Enterprise Linux® は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。

商標または製品の権利を主張する事業体を表すために、その他の商標および社名が使用されていることがあります。それらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

# 目次

1	Dell OpenManage システムビルドおよび アップデートユーティリティについて . . . . .	5
	<b>主要機能</b> . . . . .	5
	<b>本リリースの新機能</b> . . . . .	6
	<b>前提条件</b> . . . . .	6
	USC 移行 . . . . .	6
	<b>ファームウェアアップデートモジュール</b> . . . . .	7
	システムファームウェアのアップデート . . . . .	7
	<b>ハードウェア設定モジュール</b> . . . . .	8
	システムハードウェアの設定 . . . . .	9
	<b>サーバーオペレーティングシステムのインストール     モジュール</b> . . . . .	10
	オペレーティングシステムのインストール . . . . .	10
	<b>その他の必要マニュアル</b> . . . . .	12
	<b>テクニカルサポートの利用方法</b> . . . . .	13
2	起動 SBUU . . . . .	15
	<b>ローカルシステムでの起動</b> . . . . .	15
	<b>リモートシステムでの起動</b> . . . . .	15
3	異なるシナリオでの SBUU の使用 . . . . .	17
	<b>現在使用しているベアメタル Dell システムの導入</b> . . . . .	17

同じ構成のシステムを複数導入する . . . . .	19
構成がわずかに異なるシステムを複数導入する . . . . .	20
前提条件 . . . . .	20
異なるモデルのシステムを複数導入する . . . . .	21
前提条件 . . . . .	21
異なるオペレーティングシステムで同じ構成の システムを複数導入する . . . . .	22
設定ファイルの再利用 . . . . .	23
4 よくあるお問い合わせ (FAQ) . . . . .	25
A 付録 A . . . . .	29
起動可能 USB の作成 . . . . .	29
ISO イメージの作成 . . . . .	30

# Dell OpenManage システムビルド およびアップデートユーティリ ティについて

Dell OpenManage システムビルドおよびアップデートユーティリティ (SBUU) は、お使いの Dell システムの導入およびアップデートのための内蔵ツールです。これには、**サーバー OS インストール**、**ファームウェアアップデート**、**ハードウェア構成**などのモジュールがあります。これらのモジュールにより、プレオペレーティングシステム環境での BIOS とファームウェアのアップデート、現在のシステムまたは複数システムへの設定の適用、およびオペレーティングシステムのインストールが可能になります。

## 主要機能

表 1-1 には、Dell システムを導入およびアップデートするための SBUU の主要機能がリストされています。

表 1-1. 本書の構成

目的	参照先
プレオペレーティング環境におけるシステムファームウェア (Baseboard Management Controller [BMC]、Dell Remote Access Controller [DRAC]、Redundant Array of Independent Disks [RAID]) および BIOS のアップデート。	<a href="#">システムファームウェアのアップデート</a>
システムハードウェアの設定。	<a href="#">システムハードウェアの設定</a>
システムへのオペレーティングシステムのインストール。	<a href="#">オペレーティングシステムのインストール</a>
希望する複数システム (異なるプラットフォーム) 導入のためのカスタム化された起動可能メディアの作成。	<a href="#">異なるシナリオでの SBUU の使用</a>

# 本リリースの新機能

次のオペレーティングシステムをサポートします。

- VMware ESX 4.1 U2 および ESXi 4.1 U2 Installer & Recovery
- VMware ESXi 5.0 Installer & Recovery
- Citrix XenServer 6.0 FP1 HDD
- Red Hat Enterprise Linux 6.0 (x86\_64)
- 12G システムに対する追加サポート — PowerEdge R720、PowerEdge R620、PowerEdge M620、PowerEdge T620、および PowerEdge R720XD

## 前提条件

本項では、SBUU の使用における前提条件、および必要になる可能性のあるその他の情報の記載場所をリストします。

- 最低 512 MB のメモリを搭載した Dell システム。
- 光学ドライブ、『Dell サーバーアップデート』メディア、および『Dell システム管理ツールおよびマニュアル』メディア (Dell OpenManage System Administrator のインストール用)。
- 2 つのネットワークファイルシステム (NFS) または Samba マルチネットワーク共有。



**メモ**：導入するシステムにネットワーク接続がない場合は、複数の USB キーがあることを確認してください。



**メモ**：Dell PowerEdge SC システムには該当しません。

- RAID、BIOS、BMC、および DRAC に関する基礎知識。
- Windows OS インストールサポートパック。




**メモ**：これは、サポートサイトから SBUU イメージをダウンロードし、Microsoft Windows Server 2008 をインストールする場合にのみ該当します。

## USC 移行

- 1 『Dell Systems Management Tools and Documentation』(Dell システム管理ツールおよびマニュアル) メディアをメディアドライブに挿入します。  
起動メニューが表示されます。
- 2 <F3> を押します。  
**詳細オプション** 画面が表示されます。

### 3 USCBOOT を選択して、システムを USC で起動します。


 **メモ:** USC 起動は、11g 以降のシステムでのみサポートされています。オプションには USC の使用、または SBUU での続行があります。

 **メモ:** iDRAC6/BMC および uEFI BIOS が事前設定および設定されており、システムサービスおよび Intelligent Platform Management Interface (IPMI) が有効化されていることを確認します。

## ファームウェアアップデートモジュール

SBUU の **ファームウェアアップデート** モジュールでは、プレオペレーティングシステム環境でお使いの Dell システムの BIOS とファームウェアバージョンをアップデートすることが可能です。このモジュールの機能は次の通りです。

- お使いのシステムのインベントリを実施
- 独自のリポジトリの選択が可能
- 比較レポートを生成

 **メモ:** 比較レポートは、既存のシステム上の各コンポーネントの現在インストールされているバージョンと、同じシステムのリポジトリコンポーネントバージョンとの比較です。

- システムコンポーネントのアップグレードが可能


### システムファームウェアのアップデート

- 1 **Dell システムビルドおよびアップデートユーティリティホーム** 画面で、左ペインにある **ファームウェアアップデート** をクリックします。

**リポジトリ選択** 画面が表示されます。

- 2 アップデートファイルのリポジトリの格納場所を指定します。次のオプションがあります。

- NFS
- SMB
- CD/DVD メディア
- USB

 **メモ:** システムコンポーネントのステータスを、異なるバージョンのサーバーアップデートユーティリティと比較するには、**リポジトリ選択** 画面でサーバーアップデートユーティリティの場所を入力します。

**NFS** を選択する場合は、**IP アドレス / ホスト名** および **ネットワーク共有** の詳細を入力します。

**SMB** を選択する場合は、**IP アドレス / ホスト名**、**ネットワーク共有**、**ユーザー名**、および **パスワード** 詳細を入力します。

**3 続行** をクリックします。

比較レポートが **比較レポート** 画面に表示されます。

メディアがない場合は、次のエラーメッセージが表示されます。

Unable to recognize the media. It may be blank, damaged, or the format is not supported. (メディアを認識できません。内容が空、損傷している、またはフォーマットがサポートされていない可能性があります。)

**OK** をクリックします。

メディアを挿入して、**続行** をクリックします。



**メモ**: 必要に応じて、選択的にコンポーネントをアップグレードすることもできます。ただし、選択的なダウングレードはできません。

**4** アップグレードするコンポーネントを選択し、**システムビルドおよびアップデートユーティリティホーム** をクリックします。



**メモ**: SBUU は、リポジトリについての情報と、**比較レポート** 画面で行った選択に関する情報を保存します。これらのアップデートは、実際の導入時に適用されます。

**5** 現在のシステムをアップデートするには、**設定の適用 / エクスポート** をクリックします。

**適用 / エクスポートオプションの設定** 画面が表示されます。

**6** **現在のシステムに設定を適用** を選択し、**適用 / エクスポート** をクリックします。

プログレスバーが表示された後、ファームウェアがアップデートされた状態でシステムが再起動します。

## ハードウェア設定モジュール

SBUU の **ハードウェア設定** モジュールでは、お使いのシステムのベースボード管理コントローラ (BMC)、Dell Remote Access Controller (DRAC)、Redundant Array of Independent Disks (RAID)、および BIOS の設定が可能です。

構成設定を保存すると、ツールを使用して **.ini** ファイルを生成し、これらの構成設定を複数のシステム全体に適用できます。



## システムハードウェアの設定

### 現在のシステムでの設定

- 1 **Dell システムビルドおよびアップデートユーティリティホーム** 画面で、左ペインにある **ハードウェア設定** をクリックします。

**設定のステータス概要** 画面が表示されます。

- 2 コンポーネント (RAID、DRAC、BIOS など) を設定するには、個々のコンポーネントボタンをクリックします。

コンポーネント画面が表示され、この画面でさまざまなコンポーネントを設定できます。



**メモ:** マスターシステムで RAID を手動で設定し、SBUU を使用してオペレーティングシステムをインストールする場合は、ターゲットシステムでも RAID を手動で設定する必要があります。

- 3 **設定の保存** をクリックしてから、**設定概要に戻る** をクリックします。
- 4 **設定を保存してホームページに戻る** をクリックします。
- 5 **適用 / エクスポート設定** をクリックします。

**現在のシステムに設定を適用** オプションがデフォルトで選択された状態で **適用 / エクスポートオプションの設定** 画面が表示されます。

- 6 **適用 / エクスポート** をクリックします。

手順 3 に保存された設定の変更がシステムに適用されていることを示すプログレスバーが表示されます。変更が適用されると、システムが自動的に再起動し、更新された設定で使用できるようになります。

### 現在のシステムでの複数システム向けの設定

- 1 **システムビルドおよびアップデートユーティリティホーム** 画面で、左ペイン上にある **システム選択** をクリックします。

**システムの選択** 画面が表示されます。

- 2 ハードウェア設定を導入するシステムを選択します。




**メモ:** 複数のシステムにハードウェア設定を導入するための起動可能 ISO イメージを生成するには、**システムの選択** 画面で必要なシステムのすべてを選択します。

- 3 **設定の保存** をクリックします。

**システムの選択** に選択したシステムがリストされた **システムビルドおよびアップデートユーティリティホーム** 画面が表示されます。

- 4 左ペインの **ハードウェア構成** をクリックします。

**構成のステータス概要** 画面が表示されます。

- 5 コンポーネント（RAID、DRAC、BIOS など）を設定するには、個々のコンポーネントボタンをクリックします。  
コンポーネント画面が表示され、この画面でさまざまなコンポーネントを設定できます。
  - 6 各コンポーネント画面でフィールドを設定したら、**設定の保存** をクリックし、**構成の概要に戻る** をクリックします。
  - 7 **設定を保存してホームページに戻る** をクリックします。
  - 8 **適用 / エクスポート設定** をクリックします。  
**自動導入起動可能イメージの作成** オプションがデフォルトで選択された状態で、**適用 / エクスポートオプションの設定** 画面が表示されます。
  - 9 **保存先** をクリックし、起動可能 ISO イメージを保存する場所を指定します。
  - 10 **続行** をクリックしてから、**適用 / エクスポート** をクリックします。  
 **メモ**：指定した保存先が起動可能 USB キーではない場合は、メディア焼き付けソフトウェアアプリケーションを使用して ISO イメージを焼き付けます。
  - 11 作成した起動可能メディアで、選択したシステムを起動します。
- 導入が自動的に開始され、入カブプロンプトは表示されません。システムがアップデート後の設定で使用できるようになるまで、必要に応じてシステムが再起動します。

## サーバーオペレーティングシステムのインストールモジュール


SBUU の **サーバーオペレーティングシステムのインストール (SOI)** モジュールでは、お使いの Dell システムに Dell 対応オペレーティングシステムをインストールすることができます。SOI はまた、お使いのシステムにインストールするオペレーティングシステムをマップし、必要なドライバをインストールします。これには、Dell 対応のストレージコントローラを設定するための簡単なインタフェースも備わっています。

SOI を使用して、次を行うことが可能です。

- [バヤメタル Dell システムへのオペレーティングシステムの導入](#)
- お使いのシステムの再利用

### オペレーティングシステムのインストール

オペレーティングシステムをインストールするには、次の手順を実行します。

-  **メモ**：オペレーティングシステムとして RedHat Enterprise Linux 6.1 x86\_64 を選択したことを確認し、ユーティリティパーティションを作成します。

- 1 **Dell システムビルドおよびアップデートユーティリティホーム** 画面で、左ペインにある **サーバー OS インストール** をクリックします。

**日時の設定** 画面が表示されます。

 **メモ** : ESXi フラッシュまたは HDD を取り付ける場合は、SD カードまたは USB キーを挿入してください。

- 2 必要な変更を行い、**続行** をクリックします。

**インストールするオペレーティングシステムの選択** 画面が表示されます。

- 3 **Red Hat Enterprise Linux 6.1 x86\_64** を選択し、**ユーティリティパーティションの作成** を選択して **続行** をクリックします。

 **メモ** : ユーティリティパーティションには、DOS ベースの RAID ツールは含まれていません。

**RAID 構成の選択** 画面が表示されます。

- 4 **システムハードウェアの設定** で指定した RAID 構成を適用するか、お使いのシステム上の既存の RAID 構成を維持するかを選択し、**続行** をクリックします。

**Red Hat Enterprise Linux 6.1 x86\_64 用のディスクパーティションの設定** 画面が表示されます。

- 5 ブートパーティション用のファイルシステムを選択し、使用可能な仮想ディスクのサイズを入力して、**続行** をクリックします。

**ネットワークアダプタ設定** 画面が表示されます。

- 6 システム上のネットワークアダプタに関する適切な情報を入力して、**続行** をクリックします。

**Red Hat Enterprise Linux 6.1 x86\_64 用の設定情報の入力** 画面が表示されます。


- 7 該当フィールドに入力し、**続行** をクリックします。

**オペレーティングシステムインストールの概要** 画面が表示されます。

- 8 必要な場合は、**戻る** をクリックして設定を変更します。

設定を保存して、後ほど使用するためにエクスポートするには、**ホームページに戻る** をクリックして、手順 9 に移動します。

お使いのシステムに今すぐ設定を適用するには、**今すぐ適用** をクリックして、手順 11 に移動します。

 **メモ** : **システムの選択** 画面でシステムを選択しなかった場合にのみ **今すぐ適用** オプションが有効になります。

- 表示される **システムビルドおよびアップデートユーティリティホーム** 画面で、**適用 / エクスポート設定** をクリックします。

**現在のシステムに設定を適用** オプションがデフォルトで選択された状態で **適用 / エクスポートオプションの設定** 画面が表示されます。**設定のエクスポート** を選択することにより、オペレーティングシステムのインストール設定を後ほど使用するためにエクスポートすることができます。

- 適用 / エクスポート** をクリックします。


設定が保存されていることを示す **スクリプト生成の進捗状態** 画面が表示されます。

- 手順 7 で **Dell OpenManage Server Administrator** をインストールするオプションを選択した場合は、お使いのシステムの **Server Administrator** メディア、または **Server Administrator.exe** ファイルを指定します。

- プロンプトが表示されたら、オペレーティングシステムメディアを挿入します。**SBUU** は、システムにオペレーティングシステムファイルをコピーし、オペレーティングシステムのインストーラを起動します。システムが複数回再起動する場合があります。

 **メモ** : サポートサイト [support.dell.com](http://support.dell.com) からダウンロードした **SBUU ISO** イメージを使用しており、Microsoft Windows 2008 32 ビットまたは 64 ビット、および Windows Small Business Server 2011 をインストールする場合は、[support.dell.com](http://support.dell.com) から **Windows OS Install Support Pack (Windows OS インストールサポートパック)** パッケージをダウンロードしてください。**Windows OS Install Support Pack (Windows OS インストールサポートパック)** パッケージからご自分の光学メディアを作成し、プロンプトが表示されるときに **SBUU** 用として使用できるようにします。

オペレーティングシステムがインストールされ、**Server Administrator** をインストールする準備が整います。**Server Administrator** をインストールするファイルはシステム上に保存され、**Server Administrator** のインストールアイコンがデスクトップに保存されます。

 **メモ** : 対応コントローラに FC カードが存在しても、**SBUU** の動作は予測不可能な場合があります。これらのデバイスのドライバは、**Dell Systems Management Tools and Documentation (Dell システム管理ツールおよびマニュアル) DVD** の **Dell システムサービスと診断ツール**、または **Dell サポートサイト (support.dell.com)** からダウンロードできます。

## その他の必要マニュアル

- [support.dell.com/manuals](http://support.dell.com/manuals) にアクセスします。
- ソフトウェア → システム管理 → **Dell OpenManage リリース** とクリックします。
- 該当するバージョンをクリックして、特定のリリースに対するすべてのマニュアルを表示します。

## テクニカルサポートの利用方法

米国にお住まいの方は、800-WWW-DELL (800-999-3355) までお電話ください。



**メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

テクニカルサポートについての詳細は、[dell.com/contactus](https://dell.com/contactus) を参照してください。

さらに、[dell.com/training](https://dell.com/training) で Dell 企業向けトレーニングおよび資格認証もご利用いただけます。



## 起動 SBUU

Dell システムビルドおよびアップデートユーティリティ (SBUU) はローカルシステムまたはリモートシステムで起動できます。

### ローカルシステムでの起動

ローカルでの SBUU の起動には、『Dell Systems Management Tools and Documentation』(Dell システム管理ツールおよびマニュアル) メディア、SBUU ISO イメージ、または起動可能 USB メディアを使用できます。

- 1 お使いのシステム光学ドライブ / USB ドライブに、該当するメディアを挿入します。
- 2 システムを再起動します。  
起動メニュー画面が表示されます。

### リモートシステムでの起動

リモートシステムで起動するには、次の手順を実行します。

- 1 該当する Dell Remote Access Controller (DRAC) バージョンで、**メディア** をクリックします。

**仮想メディア** 画面が表示されます。



**メモ**: 仮想メディア Active X コントロールがシステムにすでにインストールされていない場合は、インストールのプロンプトが表示されます。

- 2 **接続 / 分離ステータス** を **接続済み** に設定します。
- 3 **ISO イメージファイル** の場所を指定します。

『Dell Systems Management Tools and Documentation』(Dell システム管理ツールおよびマニュアル) メディアの SBUU 起動メディアまたは ISO イメージの場所にアクセスするには、システムドライブの場所を選択するか、適切な **ISO イメージファイル** を参照します。

- 4 **接続** をクリックします。

**仮想メディアステータス** 画面が表示され、『Dell Systems Management Tools and Documentation』(Dell システム管理ツールおよびマニュアル) メディアがホストシステムに接続されたことを示します。

- 5 **電源管理** をクリックします。
- 6 **SBUU** メディアでホストシステムを起動するには、**システムのパワーサイクル** を選択し、**適用** をクリックします。
- 7 **コンソール** をクリックします。  
**コンソールリダイレクション** 画面が表示されます。
- 8 **接続** をクリックします。  
これで、クライアントシステムからホストシステムの起動メニュー画面にアクセスして、**SBUU** をリモートから使用できます。

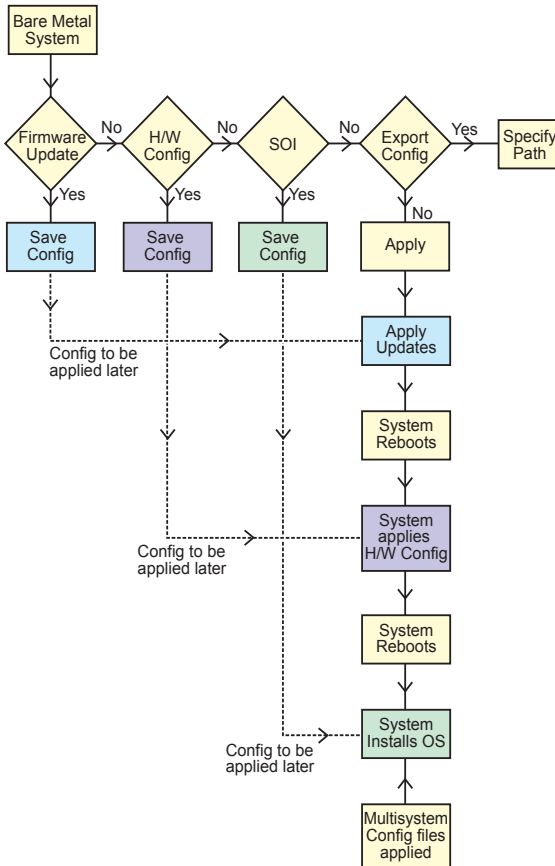


## 異なるシナリオでの SBUU の使用

本項では、Dell システムビルドおよびアップデートユーティリティ (SBUU) を使用できるシナリオをいくつか説明します。

### 現在使用しているベアメタル Dell システムの導入

このシナリオでは、現在のシステムをアップデートして導入する方法を説明します。



- 1 必要に応じて、システムファームウェアをアップデートします。  
[ファームウェアアップデートモジュール](#) を参照してください。
- 2 システムハードウェアを設定し、コンポーネント画面から移動する前に **設定の保存** をクリックするようにします。  
[ハードウェア設定モジュール](#) を参照してください。



**メモ**：サーバーオペレーティングシステムインストールの設定 モジュールの RAID の設定 画面の先へ進むには、RAID を設定するようにしてください。

- 3 システムビルドおよびアップデートユーティリティホームの **サーバー OS インストール** で **設定** をクリックするか、または左ペインで **サーバー OS インストール** をクリックします。  
[サーバーオペレーティングシステムのインストールモジュール](#) を参照してください。

**表示**、**編集**、または **リセット** をそれぞれクリックすることにより、モジュールの設定を表示、編集、またはリセットすることができます。

- 4 システムビルドおよびアップデートユーティリティホームで、**設定の適用 / エクスポート** をクリックします。  
**適用 / エクスポートオプションの設定** 画面が表示されます。
- 5 必要な情報を入力し、**続行** をクリックします。



**メモ**：マルチシステム設定ファイルを設定し、このファイルのシステム設定が使用されるように選択できます。



**メモ**：エラーが発生した場合に SBUU が終了するように、**エラーで終了** オプションを選択できます。このオプションが選択されていない場合、システムが不安定になる場合があります。

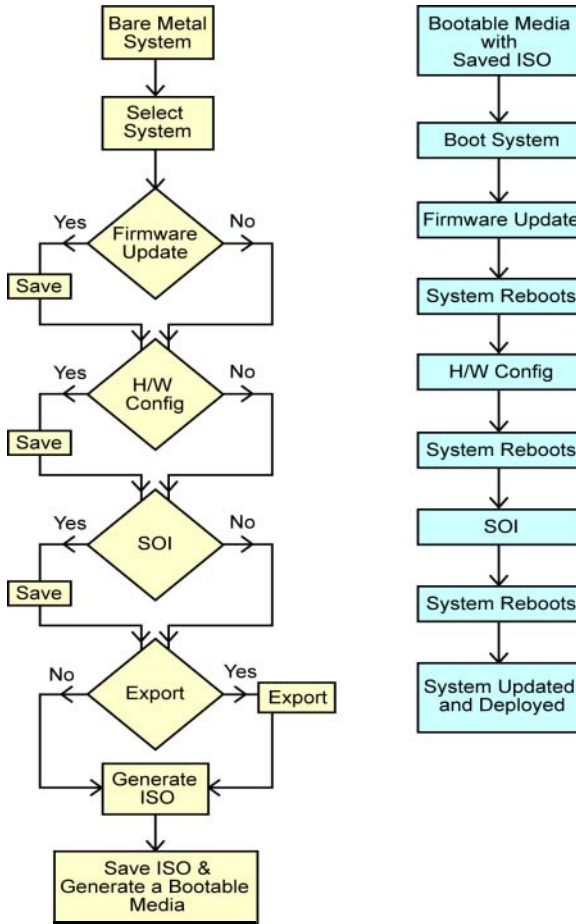
進行状況画面が表示され、その後無人アップデートまたは導入が開始されます。SBUU は、お使いの設定に基づいてハードウェアの構成とオペレーティングシステムのインストールを続行します。



**メモ**：ファームウェアアップデートのいずれかがシステムの再起動を必要とする場合、システムは自動的に再起動します。


## 同じ構成のシステムを複数導入する

このシナリオでは、同じ構成、つまり同じカード、コントローラ、ハードドライブ、メモリなどを搭載する対応システムを複数（例えば Dell PowerEdge R720 システム 50 台）導入できます。



- 1 システムビルドおよびアップデートユーティリティホーム 画面で、左ペイン上にある **システム選択** の **変更** をクリックします。

**システムの選択** 画面が表示されます。

 **メモ**：オプションの**選択** 画面で、**自動導入起動可能イメージの作成** を有効化するために **システムの選択** をクリックするようにしてください。

- 2 リストから **PowerEdge R720** を選択し、右矢印をクリックします。
- 3 **設定の保存** をクリックし、**システムビルドおよびアップデートユーティリティホーム** 画面に戻ります。
- 4 システムビルドおよびアップデートユーティリティモジュールを設定します。

現在使用しているベアメタル **Dell システムの導入** の手順 1 から手順 4 を参照してください。

- 5 ISO イメージを作成します。


**ISO イメージの作成** を参照してください。

## 構成がわずかに異なるシステムを複数導入する

このシナリオでは、構成がわずかに異なる複数の対応システムを導入する方法について説明します。例えば、異なるカード、コントローラ、ハードディスクドライブ、メモリなどが搭載されている 50 台の PowerEdge R720 システムを設定することができます。

### 前提条件

- コントローラは設定したものと同一タイプである必要があります。
- 設定した **Redundant Array of Independent Disks (RAID)** レベルおよび **RAID** ポリシーは、既存のコントローラが対応可能である必要があります。

 **メモ**：シリアル接続 SCSI (SAS) 5 と SAS 6 コントローラには、少なくとも 2 台のディスクが必要です。

- ディスクの台数とディスクサイズは同じ、またはそれよりも多くする必要があります。
- 使用可能なディスクは同一タイプである必要があります。

前提条件を満たした後は、**同じ構成のシステムを複数導入する** の手順に従ってください。

## 異なるモデルのシステムを複数導入する

このシナリオでは、例えば PowerEdge R720 システムを 25 台、PowerEdge R620 システムを 50 台、PowerEdge T620 システムを 25 台というように、異なるモデルのシステムを複数導入できます。

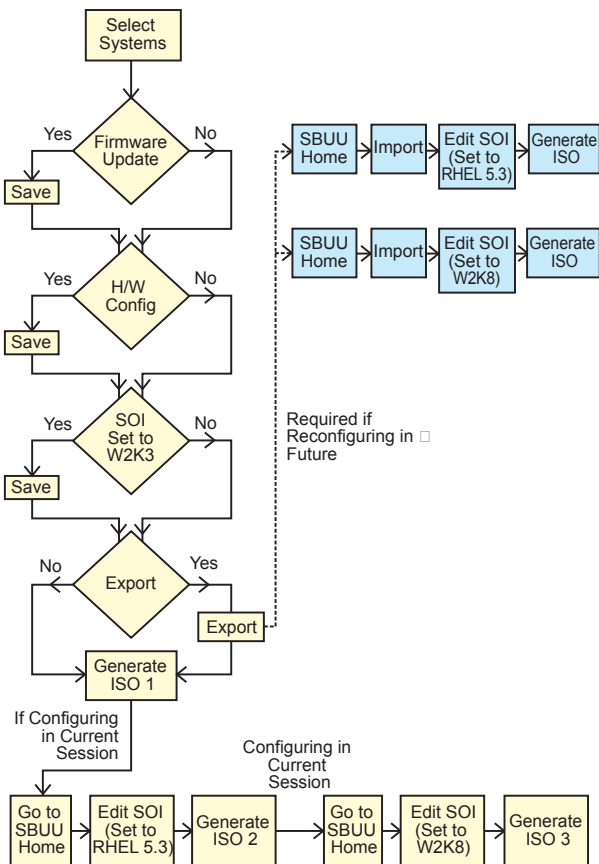
### 前提条件


- 導入するすべてのシステムが **システムの選択** 画面で選択されていることを確認します。
- アップデートが必要なコンポーネントは、ファームウェアアップデートモジュールで選択済みである必要があります。
- すべてのシステムに関連するオプションは、ハードウェア設定モジュールで選択済みである必要があります。
- 選択されたシステムには、それらにインストールできる対応オペレーティングシステムがあります。

前提条件を満たした後は、[同じ構成のシステムを複数導入する](#) の手順に従ってください。

# 異なるオペレーティングシステムで同じ構成のシステムを複数導入する

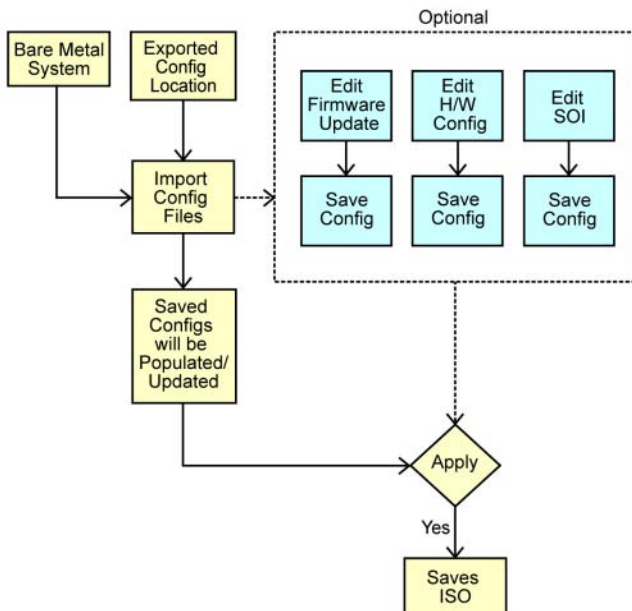
このシナリオでは、異なるオペレーティングシステムで同じ構成の複数のシステムをアップデートおよび導入できます。例えば、100 台の PowerEdge R720 システムがあり、そのうち 25 台を Microsoft Windows Server 2008 オペレーティングシステム、50 台を Red Hat Enterprise Linux 6.1 x86\_64 オペレーティングシステム、そして 25 台を Windows Server 2008 オペレーティングシステムで導入するとします。



- 1 オペレーティングシステム（例として、Windows Server 2008 オペレーティングシステム）を導入するための ISO イメージを作成します。  
[ISO イメージの作成](#) を参照してください。
- 2 システムビルドおよびアップデートユーティリティホーム で、**SOI** をクリックします。
- 3 インストール するオペレーティングシステムの選択 画面で、Windows Server 2008 を選択します。  
 **メモ**：設定をエクスポートし、別のセッションで システムビルドおよびアップデートユーティリティホーム 画面の 保存設定のインポート をクリックして後からインポートすることもできます。
- 4 システムビルドおよびアップデートユーティリティホーム 画面で、**SOI** をクリックし、別のオペレーティングシステム（例えば、Red Hat Enterprise Linux 6.1 x86\_64）を選択し、このオペレーティングシステムの設定をエクスポートして、ISO イメージを生成します。
- 5 同様に、3 つ目のオペレーティングシステム（例えば、Windows Server 2008）を設定して ISO イメージを生成します。  
これで、複数のシステムにインストールする 3 つのオペレーティングシステムの 3 つの ISO イメージが作成されました。
- 6 各 ISO イメージから、異なる起動可能メディアを 3 つ作成します。
- 7 該当する起動可能メディアで必要数のシステムを起動して、必要なオペレーティングシステムをインストールします。

## 設定ファイルの再利用

このシナリオでは、前のセッションで作成、およびエクスポートした設定ファイルをインポートして再利用することができます。この設定ファイルを使用して、設定がわずかに異なる ISO イメージを複数作成できます。この設定は現在のシステムまたは複数のシステムに使用できます。しかし、複数システム導入の種類ごとに個別の ISO イメージを作成する必要があります。現在のシステムについては、インポートした設定（必要に応じて若干変更可）を直接適用できます。



**メモ**：GUI フィールドは、設定ファイルのインポート時に入力されます。モジュールは、必要に応じて編集できます。システム選択画面で変更を行うと、3つのモジュールの既存設定すべてがリセットされます。

- 1 システムビルドおよびアップデートユーティリティホーム 画面で、**保存設定のインポート** をクリックします。  
設定のインポート 画面が表示されます。
- 2 設定ファイルのインポート先を指定し、**続行** をクリックします。  
進行状況画面が表示され、その後 **インポートされた設定ファイルの詳細** 画面が表示されます。
- 3 システムビルドおよびアップデートユーティリティホーム をクリックします。
- 4 必要に応じて、**ファームウェアアップデート**、**ハードウェア構成**、および **SOI** モジュールの既存設定を編集します。
- 5 この設定の ISO イメージを作成します。  
[ISO イメージの作成](#) を参照してください。



## よくあるお問い合わせ（FAQ）

本章には、よくあるお問い合わせへの回答を含む システムビルドおよびアップデートユーティリティ（SBUU）の様々なモジュールに関する重要な情報が記載されています。

**Q：**リポジトリとは何ですか？

**A：**リポジトリには、アップデートされた Dell システム用の BIOS、ファームウェア、ドライバコンポーネントが含まれています。

リポジトリは、『Dell サーバーアップデート』メディアに収録されています。

**Q：**アップデートプロセス中に前提条件エラーが発生したらどうすればよいですか？

**A：**このエラーを修正するには、『サーバーアップデートユーティリティユーザーズガイド』を参照してください。

**Q：**SBUU を使用するファームウェアアップデートにカスタマイズしたリポジトリの使用を希望します。

**A：**SBUU を使用するファームウェアアップデートにカスタマイズしたリポジトリを使用するには、Linux リポジトリが必要です。Linux リポジトリを生成するには、Dell Repository Manager または SUU DVD を使用してください。また、リポジトリにファームウェアアップデートを実行するシステム用のアップデートが含まれていることも確認する必要があります。

**Q：**ファームウェアをダウングレードするにはどうしたらよいですか？

**A：**システムのファームウェアをダウングレードするには、『Dell サーバーアップデート』メディアを使用してください。ファームウェアアップデート モジュールを使用してファームウェアをダウングレードすることはできません。

**Q：**アップデートの一部に失敗した場合はどうすればよいですか？

**A：**お使いのシステムを再起動し、最新のリポジトリを使用してファームウェアのアップデートを再試行してください。また、詳細について『サーバーアップデートユーティリティユーザーズガイド』を参照してください。

**Q：**ソースリポジトリとして USB キーの使用を希望します。

**A：**USB キーをソースリポジトリとして使用している場合は、プロンプトが表示されたときに USB キーを挿入してください。



**メモ：**USB キーがシステムに挿入された状態で SBUU からシステムを起動しないことをお勧めします。これは、SBUU がシステムの起動前に挿入されている USB キーを検出しない可能性があるためです。

**Q：**コマンドラインインタフェースにはどのようにアクセスしますか？

**A :** コマンドラインインタフェースにアクセスするには、起動メニューから **DTK コマンドラインインタフェース (Linux)** を選択します。

**Q :** どのコンポーネントを設定するのかを知るにはどうすればよいですか？

**A :** 設定するシステムを選択します。SBUU が左ペインに設定可能なコンポーネントを表示します。コンポーネントをクリックします。選択したコンポーネントに設定可能なオプションが右ペインに表示されます。

**Q :** RAID コントローラについての詳細情報はどこで入手できますか？

**A :** 読み取りポリシー、書き込みポリシー、キャッシュポリシー、およびサポートされているストライプサイズの詳細については、『**Dell OpenManage Deployment Toolkit コマンドラインインタフェースリファレンスガイド**』を参照してください。

**Q :** システムで使用可能な BIOS 設定オプションを知るにはどうしたらいいですか？

**A :** 起動メニュー画面に移動し、**DTK コマンドラインインタフェース (Linux)** を選択します。SYSCFG ツールを使用して、システムで使用可能なオプションのリストを表示します。

**Q :** デバイスの起動順序を設定するとき、システムにないデバイスを選択するとどうなりますか？

**A :** 設定ユーティリティは、指定した起動順序で起動デバイスを選択します。ただし、システムにないデバイスを選択すると、ユーティリティはそのデバイスを無視し、残りの起動デバイスを選択して、指定した順序でデバイスを一覧表示します。

**Q :** サイズを指定して仮想ディスクを作成するとどうなりますか？

**A :** **最大可能サイズ** オプションを使う代わりにサイズを指定して仮想ディスクを作成した場合、その後作成する仮想ディスクは、選択したコントローラとアレイディスクにバインドされます。この条件は、そのアレイディスクの空き容量がなくなるまで有効です。

**Q :** 特定のアレイディスクを使って作成された仮想ディスクの 1 つを削除するとどうなりますか？

**A :** そのアレイディスクで作成された仮想ディスクのすべてが削除のために選択されます。

**Q :** SBUU を使って Redundant Array of Independent Disks (RAID) を設定できない場合はどうすればよいですか？

**A :** RAID コントローラの **高速初期化** パラメータが **オン** に設定されていることを確認してから、再試行してください。この設定は、すべての RAID コントローラに対する工場出荷時のデフォルトです。

**Q** : SBUU を使用して、ハードディスクドライブに接続されている SATA 2 コントローラを搭載したシステムの RAID を設定できますか？

**A** : SBUU は、ハードディスクドライブに接続されている SATA 2 コントローラを搭載したシステムの RAID 構成をサポートしません。このようなシステムで RAID を設定するには、<Ctrl+A> オプションを使用するか、BIOS を介してハードディスクドライブ設定を **ネイティブ** モードに設定してください。

**Q** : システムで複数の SCSI と RAID コントローラを使用しています。SBUU がコントローラを検出する順序はどのように設定できますか？

**A** : SBUU は、BIOS 起動順序リストの一番最初のコントローラを使用します。オペレーティングシステムに別のコントローラを使用する場合は、BIOS セットアップ（システムの起動時に <F2> を押す）に移動し、目的のコントローラを最初の起動デバイスとして設定します。

**Q** : 1 つまたは複数の仮想ディスクが障害状態または劣化状態にあることを発見した場合、どうすればよいですか？

**A** : サーバーのセットアップユーティリティは起動しないでください。RAID コントローラのファームウェアユーティリティ（起動中に <Ctrl><A>、<Ctrl><M>、または <Ctrl><C> を使用）を使用して RAID コントローラの状態をリセットします。

**Q** : **レガシー** モードに表示されているディスクに RAID を設定するにはどうすればよいですか？

**A** : Cost Effective RAID Controller (CERC) ATA または CERC SATA RAID コントローラカードでは、**レガシー** モードに表示されたディスクは SBUU での RAID 構成に使用できません。RAID コンテナの一部として **レガシー** モードディスクを使用する場合、RAID コントローラファームウェアユーティリティを使用して、ディスクを初期化します。ただし、すべてのディスクが **レガシー** モードの場合、SBUU がコントローラでの RAID の設定に失敗する可能性があります。

**Q** : 複数の RAID と SCSI コントローラが搭載されたシステムで Novell SUSE Linux Enterprise Server (SLES) バージョン 10 オペレーティングシステムのインストールが失敗する場合はなぜですか？

**A** : 複数の RAID または SCSI コントローラがある場合は、RAID または SCSI コントローラを 1 つだけ設定した状態で Novell SLES 10 をインストールしてください。他のコントローラは、Novell 10 オペレーティングシステムをインストールした後で設定してください。

**Q** : すでにオペレーティングシステムがあるシステムに新しいオペレーティングシステムをインストールしたらどうなりますか？

**A** : お使いのシステムにすでにオペレーティングシステムがあり、Server Operating System Installation (SOI) を使用して異なるオペレーティングシステムをインストールする場合、システムから既存のオペレーティングシステムとデータが削除されます。

**Q** : Microsoft Windows Server 2008 と VMware ESX Server オペレーティングシステムをインストールできますか？

**A** : はい、できます。ただし、Windows Server 2008 や VMware ESX Server などのオペレーティングシステムでは、オペレーティングシステムのインストールメディアによって提供されるネイティブのグラフィカルユーザーインストールツールが使用されます。

**Q** : Server Message Block (SMB) 共有からオペレーティングシステムのイメージをコピー中にネットワーク接続を切断したらどうなりますか？

**A** : オペレーティングシステムイメージのコピー中にネットワーク接続を切断した場合、ネットワークが切断されたというエラーメッセージが表示されます。また、再起動 ボタンも有効になります。ただし、ネットワークケーブルを再接続しても、オペレーティングシステムのインストールプロセスは再開されません。システムを再起動する必要があります。

**Q** : SOI を使ってコントローラに仮想ディスクが設定されているシステムで RAID コントローラを設定するとどうなりますか？

**A** : コントローラに仮想ディスクが設定されているシステムで、SOI を使用して RAID コントローラを設定すると、既存の仮想ディスクが削除されます。

**Q** : オペレーティングシステムと RAID コントローラのサポート情報はどこで入手できますか？

**A** : RAID コントローラによっては、サポートされていないオペレーティングシステムがあります。詳細については、root フォルダの **readme.text** を参照してください。

**Q** : ストレージコントローラとオペレーティングシステムのサポート情報はどこで入手できますか？

**A** : お使いのシステムのストレージコントローラによっては、一部のオペレーティングシステムがサポートされていない場合があります。詳細については、『Dell Systems Management Tools and Documentation』（Dell システム管理ツールおよびマニュアル）メディアの root フォルダにある **readme.txt**、またはオンラインヘルプを参照してください。

# 付録 A

## 起動可能 USB の作成

Red Hat Enterprise Linux および SUSE Linux Enterprise オペレーティングシステムの Dell OpenManage メディアイメージから起動可能な USB キーを作成することができます。

起動可能 USB を作成するには、次の手順を実行します。

- 1 システムに USB キーを差し込みます。



**メモ:** システムに他の USB メディアがマウントされていないことを確認します。



**メモ:** USB キーのサイズが、メディアイメージのサイズより大きいことを確認します。

- 2 システムに Dell OpenManage メディア を挿入します。
- 3 接続されているすべての USB メディアデバイスを表示するには、次のコマンドを入力します。

```
/media/cdrom/server_assistant/driver_tool/src/make_bootable_usb.sh --scan
```

- 4 Dell OpenManage メディア から起動可能 USB メディアを作成するには、次のコマンドを入力します。

```
/media/cdrom/server_assistant/driver_tool/src/make_bootable_usb.sh <path-to-mounted-dvd> <path-to-usb-device>
```

例：

```
/media/cdrom/server_assistant/driver_tool/src/make_bootable_usb.sh /media/cdrom /dev/sdb
```

- 5 USB キーを取り外し、そのキーを使って目的のシステムを起動します。



**メモ:** Linux の自動マウント機能が USB デバイスでアクティブになっている場合は、USB を取り外す前にアンマウントします。

## ISO イメージの作成

- 1 システムビルドおよびアップデートユーティリティホーム 画面で、**設定の適用 / エクスポート** をクリックします。  
**適用 / エクスポートオプションの設定** 画面が表示されます。
- 2 **自動導入起動可能イメージの作成** オプションを選択し、**保存先** をクリックして ISO イメージを保存する場所を指定します。
- 3 **ISO の保存場所** 画面で、ISO イメージを保存する場所を指定し、**続行** をクリックします。  
保存場所として **USB** を選択すると、**USB キー**を起動可能にすることもできます。  
**適用 / エクスポートオプションの設定** 画面が表示されます。
- 4 **適用 / エクスポート** をクリックします。  
ISO イメージが作成されます。

アップデートまたは導入するシステムを起動するための起動可能メディアを作成することができます。